寫眞週報

情報局編輯
九月二日・第百七十五號・十七セン

特輯一第年周四變事那支

支那事變四周年 特輯に寄す

陸軍大臣 東條英機

支那事變勃發して正に四年、わが國の不撓大方針に基く努力にも拘はらず、最近蔣介石軍の相繼く不法挑戰によつて遂に全面的支那事變と化し、更に國際情勢の變轉に伴ひ、愈に世界新秩序建設戰爭へと發展して來たのである。この間皇軍は連戰連勝克く南北四千六百粁の戰線を疾驅し、わが國土に三倍する廣大なる要域を席捲し、征く所日章旗の飜らざるはなき有樣である。これ勿論 御稜威の下英霊十萬の獻身殉國の大義と、皇軍百萬の忠誠勇武とによることはいふまでもないが、一億國民の熱誠なる後援協力も亦與つて大いに力ある所であつて、誠に感謝に堪へぬ次第である

顧れば、この赫々たる戰果の陰に幾多の貴重なる犧牲があり、巨額の戰費資材が費されたが、皇國の基礎はこれがため微動だもせず、著々として國防國家建設への歩武は進められつゝある。即ち今日、日本の國力は從前に倍加し、戰力は異常なる飛躍を遂げ、名實共に大東亞共榮圏の指導者たるの實力を涵養し、若しわが聖業を妨げ破らんとしてこれを撃滅するに足るだけの陣容を整へつゝあるのである

飜つて世界の動向を見るに、既に壓倒的威力を以て歐洲の大部を制する樞軸國家群は更に長期戰遂行のため不敗の態勢確立に向ひ進軍中にして、なほアメリカ合衆國の動向如何によつては戰火太平洋に擴大せんとし、これが結末を見る迄には多くの時日と曲折とが豫想せられ、世界動亂の渦紋は太平洋の波さへ荒立たんとする狀況にある

かくて地球の東と西とにおいて史上空前ともいふべき戰ひが展開されつゝあるが、この東西の戰線は別箇のものに非ず共に世界新秩序の建設を目指す國家群とこれが妨害を目指す國家群との爭ひであつて、言葉を換へていへば、世界人類が各々そのところを得て共存共榮する大理想を築かんとする國家と、一部の利益のために他の民族を壓迫搾取し積けようとする國家との對戰なのである。從つて支那事變こそは重慶政權を操り以て抗日挑戰に至らしめた蒼惶たる國家群の煽動と挑發とによつたものであり、又かゝる敵性國家の援助と補給とに依つて今日に至つたことを明確に知つて置かねばならぬ。かく見て來るならば、支那事變及びヨーロッパ戰爭は、共通の目的と理想とに結ばれた共同の聖戰であるといへるのであつて、この戰ひに勝ち、新たなる世界を創造して、人類永遠の平和と幸福とを築き上げる日までわれらは斷乎として矛を斂めてはならない

眞の決戰はこれからである！ 戰爭の長期化は必然的に國民生活に壓迫を加重するものであるが、これは赤聖戰貫徹のため、眞に已むを得ざる試練であつて、この壓迫に鉛く近壑へ忍んでこそやがて赫耀たる大東亞共榮圏建設の彼岸に到達し得るのである。勿論當局もこの犧牲を最少限ならしむるやう努力すべきであるが、又國民も宜しく宇内の大勢竝にこれに基く國家の要求を正しく認識把握し、克く大國民の雅量に醉へ、甘んじて且朗かにこの試練に應じなくてはならぬ。そして眞の擧國一致の總力戰體制を顯現しなくてはならぬのである。即ち聖戰目的の完遂と大東亞共榮圏の確立とは我等大日本國民に課せられた絶對的任務であり、これを達成するために恃むは只自國の力のみであることに鑑み、勝つて驕らず、備へて固きを期し、銃後また戰士たる氣魄と決意とを以て總力戰の陣頭に戰ふべきである

玆に支那事變四周年を迎ふるに方り、總力戰士たる一億國民の總進擊を切望して已まざる次第である

今日世界情勢の推移は日に日に變轉して洵に端倪を許さざる情況でありますが、この聖帝國として最も緊切なる一事は萬難を排して速かに事變の決定的處理を進め、大東亞共榮圏確立ため不動の國策を堅持遂進することであります

この尊たる業より聖國の國是に基く八紘一宇の大精神を具現せんとするに在ることは今更緊說を要せぬところでありまして、この聖業完遂の爲なればこそ我等は艱苦を忍び缺乏に耐へつつ今次の聖戰を戰ひ拔いて來たのであります

玆に第四回事變記念日を迎ふるに當り、我々國民は益々一致團結して不測の變局に處して遺憾無き自らの實力を養ひ、敢然として事變處理の完遂に一路邁進するの決意を新にせねばならぬと信ずる次第であります

海軍大臣 及川古志郎

顧れば、本年七月七日をもつて事變も滿四ケ年を經過致しました。この間帝國の當面せる内外の事態は洵に容易ならざるものがありましたが大御稜威の下、陸に海に勇戰奮闘した皇軍の威武と、堅忍持久克く銃後の護を固めた全國民の努力に依つて戰果大いに揚り、抗日蔣政權をして敵性第三國の援助を唯一の力とし、僅かに殘燭の命を保たしむる情況に押詰めたのであります。玆にこの聞護國の華と化せられた戰歿將士の英靈と、戰傷戰病の辛苦に惱む幾多の勇士に對し、衷心より感謝の意を表し度いと存ずる次第であります

農林省水産試験場創製！

油状でない肝油源

農林省水産試験場が創製し、國策會社が良心的技術で製つてゐる……國民的高度榮養源！

本劑は農林省水産試験場が多年苦心研究の結果、從來の肝油やA・D球が往々胃腸を害し或は酸化してビタミン單位低下する等の欠點を除き、肝油に代る眞に國民的高度榮養劑として提供せるものにして、左の如き特長を有し、各科疾患に著効を奏す。

1 酸化防止、單位不變
特許成型により内容と空氣の接觸を遮斷し、ビタミンの破壞低下を防止、V・AD含有率高度

2 胃腸障碍絶無
不消化性成分を含まず、全成分の消化吸收極めて容易、胃腸衰弱者に好適

3 甘味無臭、乳衣錠
肝油臭や肝臟劑の生臭味まつたく無く、幼兒も好んで服用出來る特許乳衣錠

4 肝油以外の効果
ビタミンB、蛋白質、無機鹽類等肝油に無き諸成分を併せ、成長促進、血液新生等の複合効果多大

結核 虚弱兒 妊産婦 視力

(新)一〇〇錠
二圓三〇錢

質実臓肝＋B₂＋DAビタミン

ユーデー

A-D

製造元 水產化學工業株式會社 ★ 滿本ともかも 北買收

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

遮断線上の密輸

澳門沖

海は世界の交通路であり、海港は世界への門戸である。今日この門戸を完全に閉鎖される國家はやがてその命脈を斷たれることは明かである

わが帝國海軍が北は滿洲國との國境である山海關から、南は海南島をめぐつて佛領印度支那まで、實に二千八百五十餘里の全支沿岸の封鎖にあたりつゝ、或ひは黄海の濁流に浮び、或ひは季節風吹き狂ふ南支の波濤に、雨や酷暑と闘ひながら、海上の哨戒に、支那船舶の臨檢拿捕に、蔣政權への物資補給の道を斷たうとする努力は、一に抗日勢力を自滅自滅に導くためである

事變遂行の、この大なる目的に向つてわが海上封鎖艦隊は、昭和十二年八月二十五日、長谷川第三艦隊司令長官の名をもつて第一次の航行遮斷の宣言を發表して以來四年間、わが南支封鎖艦隊は北は溫州から南は佛印にいたるまで、日夜大自然の暴威と闘ひつゝ、わが方の目をかすめて蔣政權に軍需品や物資を供給してゐる支那船舶や第三國船に僞裝した船舶を嚴重に監視し、寸時も封鎖の手をゆるめることなく默々としてその任務を遂行してゐる

敵艦の大型ジャンクは米から積み込んで、夜陰にまぎれ沿岸の小規模な輸送ルートにいたり、こゝで荷上げする。そこで夜の荷上監視こそ封鎖艦隊の腕入れ時である。南支封鎖艦隊の旗艦○○から探照燈射撃による夜の哨戒おこたらず、怠し好な時一瞬

⇦早速臨檢隊の隊長はジャンクの乘組夫に筆談で訊問を始めた

「此之船積載之品何有」「煤油、糖、米、麵粉」

⇦船艙にはある〳〵「石油、糖、米、メリケン粉」がぎつしり詰つてゐる。明らかな禁制物資は押收し、ジャンクと乘組夫は放免する

⇦わが臨檢隊は內火艇をジャンクに橫着け、臨檢を開始した

⇦海軍の哨戒艇は小型驅逐艦で行ふ。ジャンク狩りに出動した○○艦は海上にあやしいジャンクを見つけ、機銃をジャンクの進路に打ち込み停船を命じた

兵隊さんの農園

漢口

戰爭には厖大な物資が必要だ。これを何から何まで内地の世話にならず、できるだけ現地で間に合せて、長期戰を押し切らうではないか——前線の兵隊さんは、戰ひの合間に畑を作り豚を飼ひ、鷄まで飼つて、自給自足に涙ぐましい努力を拂つてゐる

漢口にある山本部隊の軍農場を訪れてみよう。そこでは兵隊さんたちが多くの苦力を使つて立派な農場を經營し、麥や馬鈴薯、キャベツ、山東菜にほうれん草その他あらゆる野菜を作つて第一線部隊の補給をしてゐるのに驚かされる。その外野戰病院慰問用の果物や花卉の栽培までやり、豚や鷄も飼つて、肉の供給と自給堆肥の提供に當つてゐる

またこの山本部隊は軍の自給自存上必要な農産、畜産物の供給ばかりではない、支那大陸の農産、畜産技術の向上といふ大きな使命も果してゐる。つまり、中支の農事試驗場、畜産試驗場となつて、實際的な研究と農民の指導に當り、苦々と素晴らしい成果をあげてゐるのだ

馬鈴薯の春秋作の研究に成功したのも大きな收穫だつた。新東亞建設にとつた鍬と鋤、馬鈴薯の葉の繁りに汲めども盡きない思ひ出が湧いてくる

鷄では三河、名古屋のレグホンなどを内地から持つてきて研究した結果、内地からの親どりは漢口の暑さに弱いが、こちらで孵化したものは相當暑さに強いことが證明された——たゆみない研究を續ける兵隊さんの力強さには頭が下る

この贈物が屆いたら前線の戰友たちはどんなに喜ぶだらうか。思ひもかけず故郷の便りをつきつけられたやうに躍り上つてさわぐことだらう

今日は、大きく育つたキャベツがかりとられて前線に積みだされる。新鮮な野菜を前線に補給することは士氣にも關係する大きな任務だ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

敵が遺棄した銃砲

捕虜の再教育

北支

★日本軍は、支那軍の捕虜を必らず虐殺すると聞かされてゐたから"といふのが、わが軍に投降した捕虜たちが一様にロにするところですが、聞くと見るとは大違ひ、皇軍の手厚い取扱ひに感泣してゐるといふ實狀は皆さんがよく御存知のところでせう。ところがこの程北支軍では破天荒な捕虜の優遇法を發表して、抗日支那軍及び皇軍の行爲を悪く宣傳してゐた第三國をあつといはせました

北支軍管下の捕虜は今度の中原作戰の二萬五千名をはじめ夥しい數に上つてゐます。北支軍ではこの取扱ひに非常に公正を期して皇軍ならでは見られぬ優しい扱ひ方をしてゐるのです。例へば下士官以下と高級幹部は別々に收容し、高級幹部には當番兵をつけて、その上夫婦連れの幹部には同居を許してゐます。そして高級幹部は近く日本及び滿洲國に派遣して國狀を充分觀察させ、將來軍警官吏に任用する方針です。また農民及び地方出身者の一部は滿洲國に派遣して、ある期間新興産業を實習體驗させた上北支に歸還させることにし、第一次滿洲國派遣捕虜部隊は欣然として滿洲國に赴き擬に建設戰士として新興産業方面に從事してゐます。この外希望によつては歸鄕を許して正業につかせるために捕虜の再教育もやつてゐるのです

こんな捕虜の取扱ひが何處にあるでせうか、これでこそ皇軍の眞意、聖戰の意義がよく分りませう。不安の消えた捕虜たちの顏には明るい希望が芽をふいてゐるやうです ★

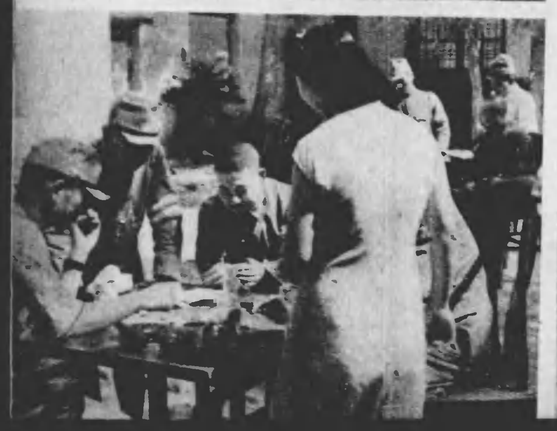
撮影　北支派遣軍報導部

⇧抗日の武器をとつてゐた時は四日も五日も食物がなく皇軍の包圍圈内をさまよつてゐたのに、今は十分に食事も與へられ安心し切つてゐる　王老爺の捕虜の大群

皇軍が鹵獲した敵の兵器　こんとの中原作戰では敵が殆んど戰意を失つてゐたので捕虜と共に鹵獲兵器の數は夥しい數に上つてゐる ⇩

⇦皇軍に投降するまで、よもや敵の治療までしてもらへるとは夢にも思つてゐなかつたらう……

⇦皇軍に投するまで、よもや敵の治療までしてもらへるとは夢にも思つてゐなかつたら……



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

聖戰讃歌

中支 報道部員
下澤新平

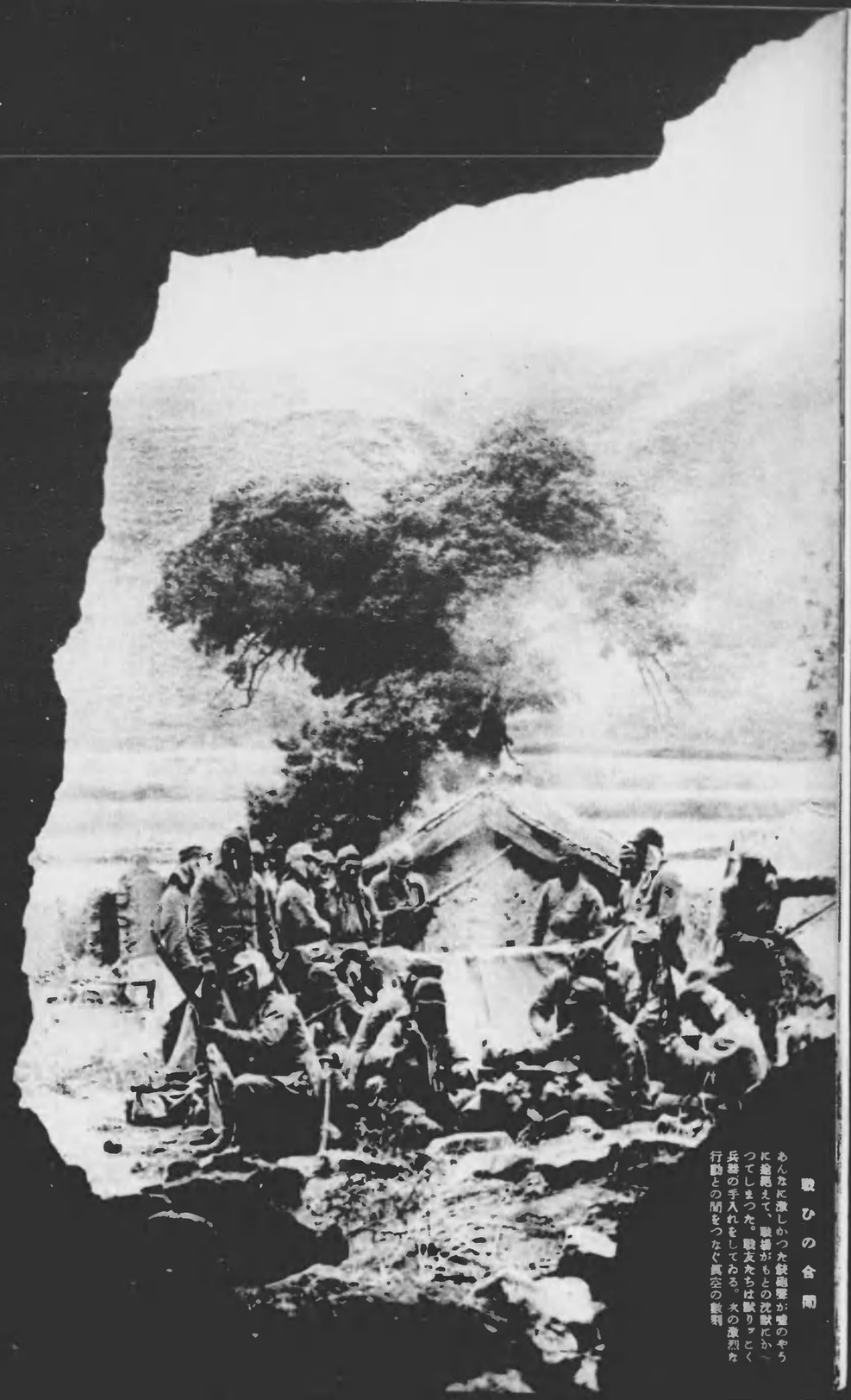
鉄剣の如きうるはしき意慾と
戰車の如き確實な平衡と
何物も阻む物なき
聖業の大旗印をおし立てて
悠々たる大陸を征く民族の前進

其所に郁馥の花は薫はり
正義の凱笳は吹きみち
あまきみる暁天の赫の文字
和平戰國！

おう東海の永明けて
らん〳〵と昇る旭日の
長期にわたる大なる光よ
燦々と降り注ぐ中を
宣揚し出神するものみなの上に
讃仰する創業の基調

—車窓—　岡田中尉

撮影　北支派遣軍報道部



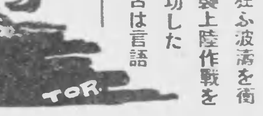
戰ひの合間

あんなに凄しかつた戰場が嘘のやうに姿を變えて、戰場がもとの沈默にかへつてしまつた。戰友たちは默々として兵器の手入れをしてゐる。火の如烈な行動との間をつなぐ眞空の數刻

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

泥濘

四月十九日の未明、わが陸海の精鋭は、折からの強風に狂ふ波濤を衝いて、突如、浙江省の東岸、蜿蜒二百五十キロに亘り、奇襲上陸作戦を敢行、敵が最後の生命線と頼む密輸入ルート遮斷に成功したしかしこの海岸一帯はまれにみる泥濘、わが將兵の辛苦は言語に絶するものがあつた——



浙江沿岸に上陸作戦敢行さる

陸軍報道部は上陸開始日時として

上陸一番�gの勇士

海のため海水は忽ち肩まで浸してしまつた。身長の無い戰友ははとんど足がとゞかないで銃劍を高くかゝげて浮いてゐるのもある。水面は暗い。聲をかしこで見ると、その中に點々と兵の列が、互ひに戰友の名を呼び合ひながら黒い點線を描いて前進してゆく。しかし前方は闇で上陸地點はどこか全く不明だ

長艇の機関部は得意の[illegible]

駆逐艦の援護射撃の下に敵前上陸を敢行する[illegible]

駆逐艦の[illegible]

[illegible]

[illegible]

雨の日の民兵

中支 内田部隊第一線陣地 師岡永造

前線良民區の雨は靜かである。自分の神經が他人のそれのやうに鋭く小銃口の秋雨の情景を思ひ浮べた。

漫口で聞かれた人間的な聲がきこえてくるやうな感覺が流れ、窓越しさうした空氣が漂つてゐるやうだ。しかし、この街中に漂ふかうした雰圍氣の底あひ、開放された生活への燃えるやうな意慾と、新生活に伴ふ不安の混沌とが、はげしく渦巻く學びだしつゝあるのを見取してはならない

いままで彼等は心から和平を求めてゐた。しかし、彼等の生活の鍵を握る支配者たちによつて、抗戰意識の城壁の中に閉ぢ籠められてゐた。そして、皐魂の進駐がこの地に及んだ時その城壁はもろくも破砕され、それと共に潰走した敗殘兵のために中支有數のこの都會は、津波の後のやうに、物もない廢墟と化してしまつたのだ

地理上の理由でか、或ひは人間心理の必然からか、硝煙の色が去らぬこの都會へ彼等は再び歸つて來た。そして、二月三月が經つて數千の民衆が再び新らしい生活を始めてゐる。

自分はそれにりしてゐないで脫ぎ捨てさせられ、まだ濕つた大陸特有の衣服を着せられてゐた。

雨は自分の神經が他人のそれのやうに鋭く小銃口の秋雨の情景を思ひ浮べた。

漫口で聞かれた人間的な聲がきこえてくるやうな感覺が流れ、窓越しさうした空氣が漂つてゐるやうだ。しかし、この街中に漂ふかうした雰圍氣の底あひ、開放された生活への燃えるやうな意慾と、新生活に伴ふ不安の混沌とが、はげしく渦巻く學びだしつゝあるのを見取してはならない

いままで彼等は心から和平を求めてゐた。しかし、彼等の生活の鍵を握る支配者たちによつて、抗戰意識の城壁の中に閉ぢ籠められてゐた。そして、皐魂の進駐がこの地に及んだ時その城壁はもろくも破砕され、それと共に潰走した敗殘兵のために中支有數のこの都會は、津波の後のやうに、物もない廢墟と化してしまつたのだ

地理上の理由でか、或ひは人間心理の必然からか、硝煙の色が去らぬこの都會へ彼等は再び歸つて來た。そして、二月三月が經つて數千の民衆が再び新らしい生活を始めてゐる。

建設戰線

風のやうな戰闘が、壯大な叙事詩を立てて通り過ぎるその陰に、初めはかほそく、やがては逞しく築き上りくる建設への歩みがある。戰線の街でも、戰線の街でも、戰ひ來つた兵隊達のもしい努力によつて、東亞共榮圈確立の道は、こうくと拓かれてゐる。これは「建設戰線」と呼ばれてもよいと思ふ。その壯大な面のごく一部分を、こゝにかゐ集めてみた

小學校

大日本帝の手によつて、戰禍の亂暴は、文第に復活整備されてさは、誰々と心を躍らせてゐる。抗日思想を英米主義の教育に際され、いまでは新中國建設の一翼を擔ふべき教育が始められてゐる。日本語を教へるために、兵隊の先生もゐる。見よ、子供達はすべてを忘れて、嬉々として「和平建國歌」を歌つてゐる。

運動會

日華親善の大運動會が開催されてゐる。兵隊さん、戰野をかけめぐつた勇士たちが、いまは神聖な競技場に打ち興じてゐる。一日も早く「和平」を實現したいと願ふ人々の心の表現である。これは學生の競技である。

皇軍慰問

（中支内地 玉井正雄）
（高野春吉）

兵隊さん慰問團の一行が、何もない。東亞新秩序建設のために戰つてゐる日本の兵隊さん、新中國建設のために傷ついた兵隊さん、御苦勞さんです、とばかり、最前線の街の中國小學生達が、白衣の兵士達を對陣した。お茶菓や、日本語の歌を唄つたりして、兵隊さんを慰め日華親善の明るい雰圍氣を描いた

醫療工作

前線に續々開院に參加の診療班が活躍してゐる。まだ戰禍の深い中國民衆に對して、かい愛の手が差し伸べられてゐる。

街頭宣傳

（中支内地 玉井正雄）
（高野春吉）

古い抗日の殼をかなぐり捨てゝ、新しい和平建國に參加の擧に出でゐる。いまこゝに中國と新しい更生の道を進まんとする日本の國民ばかりではない。東亞新秩序建設のために戰つてゐる日本の兵隊さん、新中國建設のために傷ついた兵隊さん、御苦勞さんです、とばかり、最前線の街の中國小學生達が、白衣の兵士達を對陣した。お茶菓や、日本語の歌を唄つたりして、兵隊さんを慰め日華親善の明るい雰圍氣を描いた

前線に續々開院に參加の診療班が活躍してゐる。まだ戰禍の深い中國民衆に對して、かい愛の手が差し伸べられてゐる。

古い抗日の殼をかなぐり捨てゝ、新しい和平建國に參加の擧に出でゐる。いまこゝに中國と新しい更生の道を進まんとする日本の國民ばかりではない。東亞新秩序建設のために戰つてゐる日本の兵隊さん、新中國建設のために傷ついた兵隊さん、御苦勞さんです、とばかり、最前線の街の中國小學生達が、白衣の兵士達を對陣した。お茶菓や、日本語の歌を唄つたりして、兵隊さんを慰め日華親善の明るい雰圍氣を描いた

（中支内地 玉井正雄）
（高野春吉）

小と隊兵

部落の警備地區は概して平穩だつた。中野一等兵は、軍歌集を持つて支那人小學校へ唄を教へにいつた。室内には日章旗と五色旗と並下げてある。子供たちに國旗と兩方共早く覺えてもらふと勇ましくて唄つる事になるとの希望によつて滿洲娘を教へる。日本語もたつかしいので、ある時は支那語が交つて面白い。生徒たちも授業が終ると宿舍に遊びにくる。中野一等兵が用事をしてゐる所へきて手傳つてくれる。さうするときまつて新しい唄を教へる。踏る時などは彼の前に整列して擧手の禮をする。かうして中野一等兵と小孩との間には、陽春の空氣を揺みほしてゐる。

水野 清）

聖戰四年眞の戰果

陸軍大佐　馬淵逸雄

支那弱きにあらず

支那事變が勃發して以來、茲に滿四周年を迎へた。顧みればこの間、皇軍將兵は大御稜威の下、赫々たる武勳を示し、敵軍を殲滅の極地に壓迫し所謂支那中原の大部分を席卷したのである。一方占領地域内において、日支南國が相倚り相助けて事が、眞に東洋永遠の平和確立の根本であると悟つて、擧國擧親日和平のために乘り出した汪精衞氏及びその同志の蹶起を助け、南京政府の發展强化に協力しつゝ、東亞解放のために政治的にも、經濟的にも、思想、文化的にも輓かざる建設に邁進し來つたのである。然しながら重慶政權は今なほ徹底抗戰を呼號し、爲に我々の同胞、兄弟は大陸において血みどろの戰ひを續けてゐるのであつて、我々はこの事實を夢寐だに忘れてはならないのである

聖戰四年、壯烈なる皇軍將兵の武勇に依つて擧げられた赫々たる戰果が擧げられてきた。皇軍百萬によつて完成された戰果は、北は蒙疆、南は南支海南島、佛印に至る、南北實に四千六百キロに達し、この廣大なる戰線に敵の大軍を擊破し續け、日本國土の三倍に垂とする廣大なる中原を制壓し來つた事は世界戰史に輝かしき一頁を飾るものである。これは決して相手の支那軍が弱かつたからではない。日本が强かつたからである。廣大なる國土、四億の民衆、その歷史、文化、政治、經濟、思想等凡ゆる物を綜合した支那事變の戰は單に軍隊或權ばかりでなく、全世界の强國が

（陸軍大佐）

は決して小敵ではない。而も支

は、北は蒙疆、南は南支海南島、佛印に至る、南北實に四千六百キロに達し、この廣大なる戰線に敵の大軍を擊破し續け、日本國土の三倍に垂とする廣大なる中原を制壓し來つた事は世界戰史に輝かしき一頁を飾るものである。これは決して相手の支那軍が弱かつたからではない。日本が强かつたからである。廣大なる國土、四億の民衆、その歷史、文化、政治、經濟、

の大問題なのである。抗日軍隊は勿論中軍武力の前には敵ではなかつた。然し抗日部隊の根據は、英米勢力の傀儡たる重慶政權は今なほ徹底抗戰を呼號し、爲に我々の同胞、兄弟は大陸において血みどろの戰ひを續けてゐるのであつて、我々はこの事實を夢寐だに忘れてはならないのである

聖戰四年、壯烈なる皇軍將兵の武勇に依つて擧げられた赫々たる戰果が擧げられてきた。皇軍百萬によつて完成された戰果は、北は蒙疆、南は南支海南島、佛印に至る、南北實に四千六百キロに達し、この廣大なる戰線に敵の大軍を擊破し續け、日本國土の三倍に垂とする廣大なる中原を制壓し來つた事は世界戰史に輝かしき一頁を飾るものである。これは決して相手の支那軍が弱かつたからではない。日本が强かつたからである。廣大なる國土、四億の民衆、その歷史、文化、政治、經濟、

思想等凡ゆる物を綜合した支那事變の戰は單に軍隊或權ばかりでなく、全世界の强國が

は決して小敵ではない。而も支

眞の戰果は何か

事變勃發以來の經過戰果は實に偉大なものであるが、動もすればこの戰果の觀念が占據地域の廣袤、敵兵の損害、鹵獲品の多寡等を計上する傾向があつた。勿論これら武力的戰果は戰鬪の成果中大なるものであることはいふまでもないが、戰爭遂行といふ大きい觀點からすれば、敵に與へた政治、經濟、思想面に及ぼした損耗、打擊の影響といふことが大切であり、また我が方において戰鬪に築き上げてきた政治的、經濟的、文化的建設を重視しなければならない。これこそ眞の戰果である

今、日支兩國が何故に戰を交へねばならなかつたか、その根本の原因を爲すものは東亞に對する自覺の缺如と英米等の侵略的策動であつたが、その直接の原因は、兩國の政治外交の正商權、兩國の經濟的對立、兩國民の思想感情の激化等であつた。四年後の今日事變當初の狀態を回想すれば東亞には著しい變化が招來せられつゝあることを見逃してはならない

即ち政治外交方面においては、しい以前から日支兩國は險惡なる對立狀態にあり、殊に滿洲國獨立に對する日本の承認がそれに增巾をかけ遂に兩國は干戈をもつて戰はなければならなくなつたのであるが、今や汪精衞氏を首班とする國民政府が樹立され、和平親日の政策が確立して、日支基本條約の調印をみるに至り、同時に日滿支共同宣言によつて滿支兩國の相互承認も行はれるに至つた。將介石が絕對に承認しなかつた滿洲を國民政府が正式に承認した事實は事變前における日支間の險惡なる狀態に比べると隔世の感がある。殊に今回國民政府主席汪精衞氏が正式に日本を訪問し、我が國は支那獨立國家の元首としてこれを迎へた事は重大なる歷史的意義が存する

經濟方面においては、英國のポンド貨を後楯として法幣によつて日貨排斥が公然と行はれ、豐富なる資源は悉く日本産業の前に門戶を閉ざしてきた中國が、圓系通貨にリンクし、日支合辦によつて資源の開發を行

ふやうになり各種重要産業重要事業を殆んど全部日支合辦で經營するやうになつた。これらの事は事變前には想像もされなかつたことである

また思想面、文化面においても、排日を唯一の目標として國民感情の激化を行つて來たすべての言論機關、教育機關、文化機關がわが占領地域内に關する限り和事親日に百八十度の轉回をなし爾に東西新秩序の建設に活動することとなつた。四年以前、誰が今日を想像し得たであらうか

實に四年の今日數百萬のわが壯年中堅男子が大陸に渡り、直接支那人に觸れ、その風物に接して得た支那に對する認識こそ東亞の盟主たる日本國民の資格を更に一段と向上したものといへる。これら建設的成果こそは全く皇軍連戰連勝の結果であり百萬將兵の奮鬪努力と多大の犧牲の上に築かれた戰果である

事變解決の根本

斯つて現下の變轉極まりなき國際狀勢と併せ考へてみる時に、もし今次事變が起らず、徒に過去の迷夢の中に浮沈し、國威を發揚する機會と國力を充實すべき契機とが與へられなかつたならば、現在この起るべくして起つた世界の激變に際して日本は如何なる立場に立たなければならなかつたであらうか。日本はこの事變を契機として飛躍することによつて初めて實現が出來る。東亞解放のための手段は、英米勢力の傀儡たる重慶の抗日態勢を破碎し、東亞に日本を盟主とする善隣友好、共同防共、經濟提携の新體制を樹立することが眞の事變解決の根本である。

戰陣訓に應ふ

中支　佐藤部隊　樽谷菊夫

血よ飛沫け肉よみじんに碎け散れ吾が魂あゝ戰陣訓

大業にまこと興しぬこの掌この胸を叩けば泪あふれ來る

幾度の叫息亂るゝ時だにも服すを討たじ皇兵吾れら

鬼となりな阿修羅となりな勝たざれば死たず死しても止むをすまじき

みづからは大和の子なり戰はゞ勝つ必定にかてゝ銳へむ

父に示す覺悟をつゞる戰陣や吾れしもいまゆ孝の子ならな

一粒の米も分ちて共に死なむ編れ吾が血を受しき戰友よ

仰ぐ蒼穹踏む地あなや吾が生命大義のなかに沒する日まで

生涯の我が名は愛しかすがに眼先の御名は尊くもがも

師か父かはたまた母か戰神に無きすゝるとき放のごを

ものゝふは大君の馬前に死ぬべかり頭のあたりつねに清めて

事途こそいのちぞ魂そもからそも地上の幸の源泉たるぞも

大きな間違である

日本人は、徒らに日本の使命を自覺し日本の實力を確信し信念を貫徹することなく、斷々乎として過進すべきである

事變勃發以來過去四ヶ年の國民の奮鬪と努力とは日本の國力を飛躍的に充實した。戰爭による消耗よりも遙に大きい。日本は今支那事變を脚下に踏みながら世界の大轉換に對應する爲め國家の全力を擧げて生産の擴充、國防力の完成に拍車をかけてゐるのである。事變前の狀態において二十年、三十年を要して尙且つ爲し得なかつた國防國家の建設をこの三、四年にして軌道に載せ、今やこれが完成に近しい進行を續けつゝある

今ドイツは八百萬の軍隊を動かして全歐を蹂躙し、全世界を睥睨してゐる。最近ルーマニア情勢によつて再起の望無きまでに虐げられたドイツは如何にしてこの國力國防力を完成したか、結局は國民の意志の力、信念と努力である

獨ソ遂に開戰す。世界の情勢は更に急化し、日本の地位は益〻重大となる

聖戰下四年の我が國民諸君、日本は今戰爭の眞最中である。敵の砲彈爆彈が頭上身邊に雨に飛んで來る眞只中に身を置くの覺悟を以て一路國策の命ずる所に從ひ、滅死奉公國力の完成に努むべきである。今や悉く實行の時機であつて議論の時ではない

（筆者は日本無線電信電話會社技師）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

わが海軍を知れ

海軍大佐　平出英夫

海に空にわが海軍

支那事變も既に四周年を迎へたが、わが國上下共實も堂々たるはれば戰場も受けない、通商も妨害されなければ、軍隊の移動も計畫通り行はれてゐることは、世界に例を見ない作戰である。それといふのも渡洋爆撃によつて敵の海、空軍を撃破し制海權、制空權二つながら獲得したからである

さことにわが國には完璧なき海軍が備つてゐる。支那事變が始まつて間もなく支那沿岸の航空圖を發行したのである、日本は現有支戰權を發動してゐないので、第三國船の航行を差圖することはできない。だから上海、香港以外の支那沿岸は戰時封鎖に近い封鎖作戰の實施して、支那軍需品の搬入を防ぎ、支那軍の抗戰力を弱めようとしてゐる

現在のわが海軍の封鎖線は給ふる支那の全沿岸に亘る二千八百哩の長きに張りめぐらされてゐる。歐洲に戰つてゐるイギリスの封鎖線の如きは、ほんの一部を、從來、單に五千乃至一万トンであつたのが、現在では時々壞されるその倍以上、三千トン位になつてゐる。このビルマ・ルートの重要性が根據地、補給地のないところである。日本人として大いに考へなければならないところである。

四月以來の封鎖作戰が非常に効を奏して、昨年度の物價はますます騰貴してゐる。物價指數を事變前百として、最近上海附近は五百、天津附近三百、これに對して重慶では千二、三百に上つてゐるといはれてゐるが、その中米などの必要品が二十倍、輸入品の如きは三十倍、五十倍になつて經濟的壓迫はますます顯著になつてきてゐる

米蒙戰と日本

次にふりかへつて、昨年來波高しといはれてきた太平洋を見ると、國民はこの點について最も關心をもつてゐるやうなものである

昨年の夏、ノモンハンに於ける日蒙軍の衝突は、日本軍の實力を過小評價してゐた蘇聯軍が、日本軍の實力を知つて驚いたやうなものであつた。

日本の外交が日獨伊三國同盟の條約を樞軸として運用されてゐることは、日本の外交そのものがもつとも明瞭に物語つてゐること。また日本が平和的な南進政策の擴大强化に對してあらゆる努力をつづけてゐることも極めて明らかである。いよ〳〵イギリスが苦境に陷り、それに代つてアメリカが、援英强化に乘りだしてくるならば、効果の如何に拘らず今後ますます〳〵種種の謀略が行はれるに違ひない。敵性國家群の策動に對しては、われ〳〵は不斷の注意が必要である

デマにまどふな

世界に强い武力を持つ國はたしてゐない。しかしながら海に强い國は陸に强からず、陸に强大な國は海軍ほど、更に空の力をも加味して考へれば、陸海空の三拍子揃つた國は世界に殆り例がない。空の力をも具へたわが帝國陸海軍の偉大な力は實に世界の定評となり、この力に對して手をだし難い感じを持つてゐるのである。國内の團結力を破つたり、或ひは軍民を引き離さうとし、或ひは陸海兩軍を裂かうとしたりする工作こそは敵性國家が百方手をつくして實施しようとする謀略である

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

歐小康をえたやうに考へてゐる者があるやうである。しかし太平洋の波は日一日と高くなりつつあるものではないのだらうか

ドイツの潜水艦と飛行機による通商封鎖作戰によつて、援英物資はかなり大西洋の藻屑と化してしまふため、アメリカは軍艦や商船を使つて安全にイギリスに品物を送りとどけようとしてゐるが、かうなれば情況によつてはアメリカ軍艦とドイツの潜水艦との戰闘を卷き起す危險が多分に含まれてゐる。さうなれば事實上獨米開戰にまで發展するものと考へねばならなくなつてきてゐる。アメリカが參戰するとなると日獨伊三國同盟の關係もあるから、遠い對岸の火災のやうに見える歐洲戰爭や大西洋の問題が直ちにわが國に影響してくる

また次に日本の參戰か問題となつてくるか、三國同盟の誼みによる以外わが國は戰爭に介入することはないと考へてよいものであらう。もし單一敵性國家群の經濟壓迫がわが國の生存權を犯すやうな場合、わが國はその自衛上當然蹶起しなければならないのであるが、かういふ事態に直面しなければならないかどうかは、敵性國家のわが國に對する態度によるので、わが國自ら戰ふなどといふことはないのである。

戰陣吟

われに必殺戰法

わが帝國海軍に現在大小二百餘隻の艦艇が支那沿岸海域の作戰に從事してをり、更に二百餘隻の艦艇とこれに必要な根據地とを整備して西太平洋の海域に備へてゐるが、この整備狀態はわが國有史以來空前のもので、この必要な基地は今や完璧そのものの防備を施し終り、海軍はこれを根據地とし、大鯨はこゝにひそんで、輕々しくわが國に挑戰するものがあれば、これを一擧に粉碎すべく構へてゐるのである

これと同樣わが帝國海軍の航空兵力は軍民一致の努力によつてその數は既に四千機になんなんとし、支那大陸においても引き續き敵航空部隊の撃滅、その他の戰法とは別に、わが海上航空部隊として獨特の必殺的戰法の訓練に餘念ない有樣である

今日の世界情勢を眺めるに、日本が參戰せずとは誰しも斷言することは許されまい。しかし萬一の場合においても何ら驚くに足らぬ準備が行はれてゐることは既に申上げた通りである。われ〳〵國民は不必要な不安は取り拂ひ、ひたすら各自の職域に御奉公し、皇國三千年の歷史を更に發展させ、大和民族萬歲の運命を開拓する氣魄をもつてこの未曾有の國難突破の進軍を明朗に勇ましくつゞけていたゞきたいものである

蒙古青年は立ちあがる

蒙古の夏は、緑の牧草が十分のびあがつて、牛馬羊群の肥えるときである。

青年たちは馬上に立つて高群を追ひたて、少女たちは牛乳をしぼつて乳製品の作製にいそしむ。このやうなのどかな、また勇壮な風景が蒙古草原のあちこちに展開する

曾てユーラシヤ大陸を東西にかけめぐつた蒙古の英雄たちの後裔は、かうした日常生活にせんじ、古い日の光榮を繼承してゐる自らを反省することがないものであらうか。いま世界を動かしてゐる世紀の大轉換をちつと見すごしてゐるのであらうか。日本を盟主とする東亞共榮圏の中にあつて、いかなるたちあがりを考へてゐるのであらうか

われ〳〵は内蒙古青年の動きを、察哈爾盟に育成された蒙古青年同盟と綏遠蒙古中學校の一張一弛に求めてみよう

×　×　×

蒙古青年同盟が組織されて數年、この同盟はいまや蒙古青年運動の中心をなしてゐる。また中學校は青年同盟の母體をなしてゐる。察哈爾盟に早くも青年運動が活潑に興つたのは、この地方の蒙古民族が多分に民族自覺にもゆる原因があり、文化的水準が高かつたことによる。察哈爾地方は長年月の間農耕民の長城線突破北上によつて、麗しき草原は掘りかへされて牧地は極度に狹められ、遊牧社會は破壊されつゝあつた。しかし蒙古民族自治の運動はこれを阻止して、草原を蒙古民族自身の手によつて保護しようとした。こゝに、新らしい文化と科學に基づいて遊牧社會が建設されねばならないといふ民族自覺が青年の根本思想となつた。

東亞共榮圏の一翼たる蒙古民族を更組より承けついだ草原の戰士としてたちあがらせようとする青年運動が蒙古青年同盟の結成となつて現はれたのである

察哈爾盟長は率先して青年同盟および中學校の指導に當り、阿本部長は運動の中心となつて青年層の指導原理を統一してきた。民族指導理念の前には、身命を賭す蒙古青年の團結は力量と東亞の一環を握つてゐる。草原武士道を繼ぐ剛健不屈の風格さへ具備した中學生人物の錬成は、民族意識を鍛へ、科學を導入して、技術を體得することである。あゝ時ヲ得ザレバ事ニ當ルコトヲ得ズ。

蒙古中學校における中學生人物の錬成は、新しい軍事精神にその一端をうかゞふことができる。また、タ日の照かな美術、音樂、體育、科學性のない者は、蒙古民族の指導者となりえない。技術の向上としては遊牧社會の發展を考へられない。新しい牧畜方法の實習、畜産加工の實習、牧場改良に關するための事研究は理論の實踐にまたねばならない。また印刷工場を設けて教科書、雜誌の印刷發行の技術を養つてゐる

×　×　×

ひとたび西北蒙古中學校の門にのぞめば、紀律正しい德育、生徒に親しめられ、整頓された教室に、整備した實習室に、專心研究を續ける青少年たちの働きつた姿をみるであらう。草原武士道を繼ぐ剛健不屈の風格さは新しい軍事精神にその一端をうかゞふことができる。また、タ日照の照かな美術、音樂、體育、科學性のない者は、蒙古民族の指導者となりえない。技術の向上としては遊牧社會の發展を考へられない。新しい牧畜方法の實習、畜産加工の實習、牧場改良に關するための事研究は理論の實踐にまたねばならない。また印刷工場を設けて教科書、雜誌の印刷發行の技術を養つてゐる

×　×　×

同盟は中學校と共に各旗の出身鄉土の識字運動に努力した。文盲は一人でもあつてはならない。蒙古文を解せず、西歐のお經しか讀めないやうなものであつてはならない。草原の包の蟄居で老幼に文字を教へる青年たちの眞摯な姿には頭を下げねばならない

中學校の印刷工場で刷りあげた新聞は包にも喇嘛廟にも送られ、世界の情勢を知らせ、新らしい文化を知らせた。識字運動と新聞とは鄉會から隔絶された蒙古草原に文明を送り啓明東亞の眞實の姿をはつきりと焼きつけた

×　×　×

青年同盟の指導の發展は科學、技術のほか、藝術の向上にもみることができる。民族の心を淨化し、正しく美しい情操を培ふために、昔からの民謠、物語に新らしい研究を加へて普及させ、さらに民族劇の創生をはかり藝術的橋梁を高めようとしてゐる

青年同盟はかうした文化面ばかりの活動ではない。兵年に一回は必ずあるといふ事變に對する活動はこの文學にもあらはれた。乾草の貯藏、牧野の改良、管理法の改善を叫ぶその指導へと移つた青年同盟の支部が各地に設けられて、牧業經營の改良と共に畜産加工及び農產加工に指導されるとき、文化向上と相俟つて遊牧社會は進むであらう。

かくして、われ〳〵は草原蒙古を力強い遊牧社會に築きあげようとする青年同盟に心からの讃辭をなし、のぞむらくは草原生活の中にはやくに東亞共榮圏の烈々しい戰士の生活が開始されてゐることをはつきり認めねばならない

（蒙古聯盟顧問）　藥地杜夫

抽紗女

蒙疆地區の名物となりつゝあるサヤは出の地方の繪出品の王である。貞松または老人と子信仰を抽絲を義

北京学窓アカシアに想ふ

街路に綠陰に寄宿舍の窓邊の周圍を押し包んだ頃、中國人の同學達は、アカシアの木に澤山の梯子を持ちだして、日曜ごとに三年近い月日を累ねた。その月日の間に北京大學、燕京大學、中國農學院は次々と不隨の生長をなし遂げ、まだなし遂げつゝある。私の入學當時八、九十名に過ぎなかつた學生——初募集の一年級の學生と事變前の舊學生——が現在は二百數十名に增し、ぬことであらう。とは言へ、夢中に生きながらも、中國人と隣は、外觀的に判斷を下し得る。が、たゞその動機がどこまで浸法子ではなくて、彼の如き日本への是認に出發してゐたとすると、それは今後の日支關係、東亞建設にとり程力強いことであるか知れない

その意味で我々は彼等に日本を語り日本人を說き、個人的な友人であるとともに、よりよき日本の理解者たる中國人インテリゲンチアの心からの親結である。明日の蒙古を背負ふものはこの結ばれた青年層である。青年同盟の指導原理は察哈爾盟のすべての蒙古人の思想となり血とならんとしてゐる。あゝ此の行動、實務はこの中心思想によつて統一されつゝある

戦野随想

兵隊の饒舌

なつかしき宿営地

新緑のにおう五月、麦も菜種も大体にたって、戦線を後に控へ仰向けになってる。空に雲雀、遠い彼方にかすかに砲声も聞えて、平和である。前線から離る途中の、小休止のひと時である

一面の田の表はそろそろと稲を、遠くに農家が大きな木を見てる。水牛が時々われ／＼の方を物憂げに見ては、飼ひ主に叱られてる。戦友たちは心地よさそうに煙草をすったり、話し合ったり、さうかと思ふと、何度拭いても拭きれない汗を、いま／＼しげに拭いてゐるのもある

やがて出発準備だ、との戦友の報も聞かれ頃とのまいだ。部隊使用の美力たちも、宿営地を出発した当時の面影はさらさらない。皆頬のあたりにつやこけてゐる小仔牛現は出発を始めたのだ。われわれも出発に差力も相当足をいためてゐるから

われ／＼は銃を用ひ兵隊達と一緒に歩いてゐる。今日は懐かしい宿営地に帰れるのだ。一ヶ月振りの宿営、と思ふだけでも楽しい。

とりとめもない話をしながら歩いてゐる。兵隊の馬鹿話は飽きない。兵隊の馬鹿話は飽きることを知らない。兵隊の馬鹿話は飽きることを知らない。兵隊の馬鹿話は飽きることを知ら

戦線綴方

南支廣東にて

南支 従軍看護婦 村上達子

多年の宿望が叶つて、夢に中にまで見た南支への従軍に、溢れるほどの希望を抱き、祖國を離れるなど思ふ感傷さへ忘れて出發してから早や一ヶ月餘りが經過した。

拉いた母の顏、兄妹との別れ、また日夜苦樂を共にした懐しい友の顏やホームを離れてゆく汽車の車窓、そしてそれに和す見送りの人々の萬歳の聲など、いま任地にあつて想像するすら胸に迫る。それらの想ひ出は忘れられない私の人生の一頁として殘ることであらう

雨季に入つた南支の空は常に暗色に、くる日もくる日も小雨が降る。往來する支那人は何か鬱陶なく不潔で、無邪氣さうな子供たちさへ、そぼ降る雨にヒタヒタと裸足でゆく淋しさうな顏を見て、私はあの祖國の青空と明るい太陽とそして大きく咲いてゐる眞生ゴム、肉地に騒いたら華麗がドリ肉地でなかつた快速たなく祖國の小道にはふみれぬほれ、祖の田圃の水を淚んでゐる戰友に目が痛む

水と行軍

南支 陸軍軍曹 中澤富太郎

きのふ一日の行軍の疲れが未だ殘つてゐるやうな重い體を引きずつて、今日も亦行軍の途に上つた。

水筒には入れ立ての水が滿々と入つてゐるが、この水が曲者で、飲めば飲むほど咽喉が渇いてくるやうな氣がする。

行軍へ云ふなヒールの事なんか

照りつける太陽の光線は眞夏のそれと少しも變りなく、ジリジリと肌を焦すやうに暑い。

汗は滝のやうに流れる。太陽に照りつけられてゐる道路のホコリは、生温いのを通り越して熱いのである。

かうして一日中歩き續けるのだから、足の痛みは堪へ難いものがある。

水筒の水は、生温いのを通り越して熱いのである。

忙中閑

何時も描いてやると西地に急ぐらしいけるとこの漫画に出てくるほどに暇な訳ではありませんもちろんキリキリ舞いするほど忙しくもないといった程度です。中には暇がないのを気にしてすぐイライラする人、焦る人、書いて呉れと言われると困る人、ここで挙げるような武者がつきまとうとは全く便利なものです

魚釣り

クリークに縁をたれて一時間餘りもボーッとしてるるが一向に釣れない

傍で支那の子供がドンドン釣り上げてるる。

こりゃどうも面白くないんだらう、餌を呉れとや、と子供にもらってやってみるが一向に釣れない。釣道具はおれの方がエーにはよさそうなあと感じ面をかねてるるがどうも駄目だ。制球もライもこれがやできやせん

将棋

暫間發にはよく将棋や碁盤が入ってる。兵の生活にイツサンの余暇をこれに手を出して呉れと頼まるる。どうも駄目と将棋は嫌いらしい

絵と文

陸軍省報道部嘱託
岸本勇

浪花節

浪花節の好きな兵隊に一番困ることはどこの席にも必ずといってよいほどこの浪花節の好きな人が居ることである。なかには浪花節ならば一晩中でも聞いて居るといふ人もあるが、なかなか堂に入ったものをカメ風呂の中に入って長講一席、終了後は湯の中に入れたまま放置されてもまだ一同に取かこまれてしまうのだから

人形

テロ犯人

逮捕 漢口

全國民の感激と興奮の中に漢口が陥落してから既に三年近い月日がたつた。その間には一時テロ事件の頻發なども見られたが現在ではそれも全く影をひそめ、漢口は今や焦土から建設へその面目を一新してゐる。たがその蔭には、わが海軍警備隊が日夜警備に、捜索に、または防火に不斷の努力をはらつてゐることを忘れてはならない

わが海軍警備隊は漢口市街のうち日本租界、第一特別區、第二特別區の警備を受持つてゐる。受持區域の出入には哨所を設け、四六時中出入の中國人を檢問し、市民證の有無や危險物許可のない物資の搬入を一々取り調べて、區域内の治安強化に努めてゐる

また警備隊には消防隊も組織されてゐて、市内の出火には早速駆けつける。漢口の市民もその機敏な動作と勇敢な活動には心からの信頼をかけ、どんな大火でも海軍の消防隊が出動すればもう大丈夫だ、と安心し切つてゐるといふ

実如警備指令が發せられた直ちに憲兵隊が出動して市内に檢索の網が張られる

要所、要所の交通はとつさに遮斷され追求の手はあらゆる交通機關に伸びて、犯人の逃路は完全にふさがれてしまつた

次に道路上にゐた市民は全部檢査隊の訊問をうける。抗日の迷夢から覺めない不心得者の行動に、何時も迷惑をうけるのは良民だ

次部抗心感

大部分は組にして逃さす警備隊の敏速な行動によつて遂に犯人は檢擧された。かくして漢口の治安全し

實地といふ實地がしらみ潰しに檢索される。新らしい建設のために、良民の保護のため、憎惡の鐵槌は苛實なくトされる

廣東の政治訓練所

⇧ 嚴肅な國旗掲揚式

新生中華民國は汪政權が成立してから一年餘、事變四周年を迎へて建設も著々と自主的なものとなつてきた

南支の中樞地點廣東には早くも治安維持會が發展して省政府、市政府が次々に成立し、全省の行政權は省政府が掌握し、更生廣東の復興ぶりは實にめざましいものがある。事變前八十五萬の人口を擁してゐたといはれる廣東市は皇軍が入城した當時の僅かな人口に比べて今では六十萬を數へ、二度と廣東の地を踏まぬと香港に逃避した廣東上流社會の出身者さへも追々と歸廣して商業都市廣東の息吹きは活氣を帶びてきた

しかし折角住民が新らしい廣東の設定を誓つて生活を營まうとしても、それを經營する役人が舊來の搾取主義を固執して可欵誅求をほしいまゝにしては更生廣東を育成することはできないと省政府は先づ廣東省地方行政人員訓練所を開設し、新らしい南支の建設にあたる靑年官吏の養成に乘り出した。この訓練所は四月一日から開所し、定員二百名で四ケ月の訓練を終へれば各縣に配屬され省内統治の第一線で活躍するものである

訓練生は朝五時の起床ラッパにはね起き、夕五時半のラッパで一日の課業をおへる

⇧ 全訓練生二百人を集め、二階のバルコニーから大亞細亞主義の快辯を振ふ錢所長

⇧ 規律を重んじなければならない官吏の養成には軍隊教育が大切である　この立前から嚴格な教練が毎日行はれる

⇨ 反共館、和平館、建設館、寄宿舍は更生新支那のスローカンにちなんで三館に分けられ、生活はすべて軍隊式にベットも勿論上げる

⇧ 圖書室では『中國警察行政』といふ固い書物を事務係の若い人から借出すものや娯樂雜誌に讀みふけるものもある

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

新生中國は溌剌と

北京

『しっかり』今年も優勝めざして猛練習。バレーボールでは北京で鳴らしてゐる彼女達です

『今度こそホーム・ランよ』北支の女學生間に非常な人氣のインドアベースボール

＊　＊

アカシヤの並樹が、濃い影を投げてゐる舗道を、十數人づゝ一團となつて、自轉車でさつそうと通學する女學生の姿は、北京の街頭を活氣づける一番明るい風景でせう。彼女達の背すぢは見事に伸び、動作は若鮎を思はせるやうにピチ〳〵と輕い

この彼女達の溌剌さと、同じ街頭を闊歩にへし曲げられた氣味悪い小さな足で、ヨチヨチ歩いてゐる婦人達と比べると、實にはつきりした新舊の對象で、こゝにも豐かに伸びゆく若き中國女性の一面がうかゞはれます

國立北京女子師範學院つゞき操專修科の生徒さんたちは中でもとつそうな女學生を代表してゐるともいへませう。彼女たちの伸び〳〵した姿態この中に、明日の中國の希望と躍進が、たのもしくも約束されてゐるではありませんか

＊　＊

號砲一發！　スタートを切るスプリンターの見事な肢體

一二三四の號令に合せて一絲亂れず打振る青龍刀の晝く律動美。正課になつてゐる國術體操

情報局
國民貯蓄奨勵局 共同主催

貯蓄奨勵ポスター懸賞募集當選圖案發表

一等 東京市牛込區東五軒町二 岸 信明

二等一席 神戸市灘区篠山本通四丁目廿四ノ二 水島 武雄

二等二席 東京市芝區浜松町二ノ五二 上原 準紘

二等三席 東京市牛込區東五軒町二ノ方 米島 直樹

二等三席 東京市牛込區東五軒町二ノ方 植口 浩一

三等一席 大阪市東淀川區國分町六四五 池田 勲大

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか。

1 こんどの七月七日で支那事變は滿二年になります。（一頁）
2 わが海軍は現在大小二百餘隻の艦艇を支那沿岸海域にのべてゐますが西太平洋海域にはどれくらい出動してゐますか。二百隻。三百隻。（16頁）五百隻。六百隻。（16頁）
3 大陸のわが戰線は南北何キロ位に及んでゐますか。九百キロ。千二百キロ。二千二百キロ。三千六百キロ。四千六百キロ。（11頁）三千四百キロ。（11頁）
4 更生實業市の人口は三十萬。六十萬。八十萬。百萬。（28頁）
5 帝國海軍の海上封鎖範圍は青島、海南島間。上海、廣東間。山海關、佛印間。（28頁）
6 漢口へ內地の戰を持つて行つて育てようとしたら枝さにすつかり參つてしまつた。それでも兵隊さんは內地のすき燒を食べたいといひます。何とかならぬものかなあ。（4頁）
7 ジャンクとは——支那の人力車。帆前の小舟。土造の支那馬具。大見櫓の一種。（2頁）
8 わが海軍の公報航空兵力は——二千機。二千五百機。（16頁）四千機。五千機。（16頁）
9 綏哈鐵——何とよみますか。（18頁）
10 滿洲國の新興產業に近頃入つた中國人勞務者の一人が「自分は最近まで抗日軍にゐた」と洩しました。おやへ、彼等は——蔣介石軍のスパイとして潛入したんだ。いや驚かされるので逃げ出した。わが指導になつたが、產業戰士として再敎育されてゐる。（6頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか

お知らせ
こんどの第百七十六號（七月九日發行）は支那事變四周年記念特輯として發行しますので七月七日までに皆さんの御手許に入るやう早めに發賣することになりました。御承知を願ひます

表紙
明日の爆撃行を目指してわが荒鷲が靜かにその翼を休めてゐます。何んといふ雄大な美しい姿でせう！この機は、藤田嗣治畫伯が度々の從軍やノモンハン戰跡の視察などによつて觀へられた眞境を集中して、支那事變四周年記念日のために、特に筆をふるつたものです

寫眞週報（禁轉載）
昭和十六年七月二日印刷發行
編輯兼發行者 情報局
東京市麹町區丸ノ內三ノ一二
印刷者 內閣印刷局
東京市麹町區大手町

定價 一部 十錢
▲豫約配送御希望の方は一部十錢（外國郵便に依る地域は十九錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい
▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所
內閣印刷局發行課
電話丸ノ內(23)三五一一九
振替東京一九〇〇〇
全國各地官報販賣所
各書店・鐵賣店
各新聞販賣店
寫眞材料店

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

官員週報

興亞の貯蓄は保險から

社團法人 生命保險會社協會
後　援 大藏省・商工省

內閣印刷局印刷發行

（判型報週）-A4判規定國はさき大の書本）

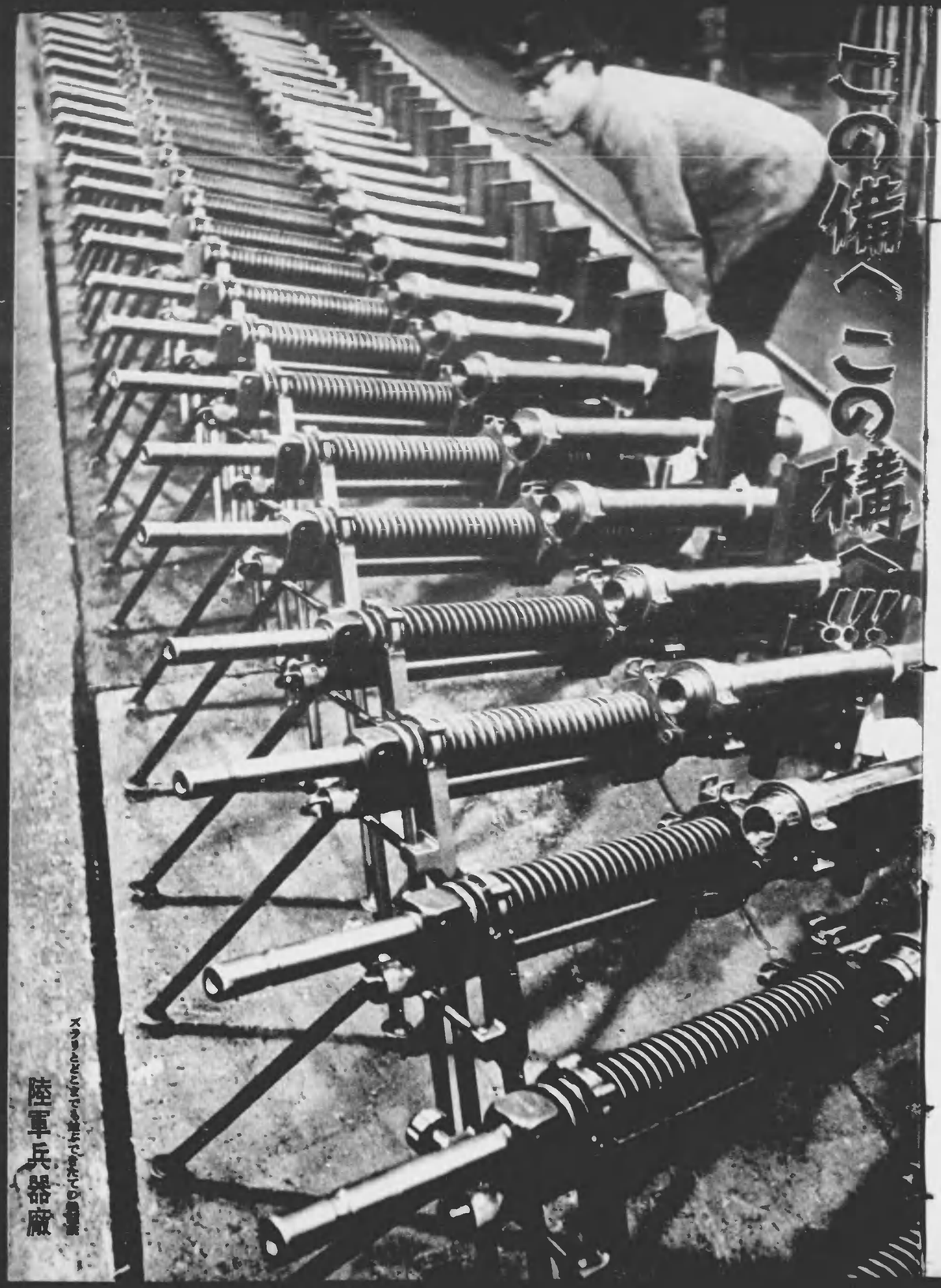
寫眞週報

情報局編輯

昭和十三年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十六年七月九日發行
七月九日・第百七十六號・十七ン

支那事變四周年第二特輯

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/